



Title	タクラマカン沙漠の石窟寺院
Author(s)	荒川, 正晴
Citation	月刊しにか. 1996, 7(1), p. 72-73
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/88456
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【特集】

中国主要遺跡
ガイド

タクラマカン^{さばく}沙漠^{せつくつじいん}の石窟寺院

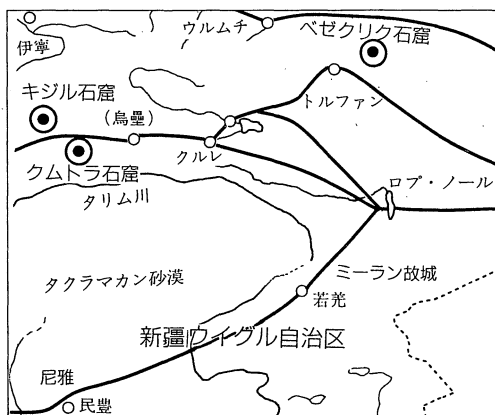
現在の新疆ウイグル自治区の南部(漢文資料に見える狭義の西域)は、イスラム化以前、特に仏教が栄えたところであり、各地に石窟寺院址が残されている。その中でもいわゆる「西域北道」と呼ばれるタクラマカン沙漠北辺のオアシス地域にそれらは集中して存在している。そこでここでは、その代表としてトウルファン地域とクチャ地域を取り上げる。

【トウルファンの石窟寺院】

▼ベゼクリク石窟

カラホージャ北方ムルトウク河の西岸の絶壁に造られた石窟群。中国側の番号によれば、現在六三ほどの石窟が確認され、その開鑿は遅くとも六世紀の麴氏高昌国時代に遡るといわれるが、現存する石窟の多くは、一〇〜一三世紀ごろのウイグル仏教期のものである。ただし石窟

とはいっても、すべてが岩壁にうがたれた洞窟ではなく、断崖の中腹部にできている平台上に日干しレンガを積み重ねて造られた建物も多い。ベゼクリク(柏孜克里克)とは、現代ウイグル語で「装飾のある所」とか「壁画のある所」という意味をもつが、その名の通り、元来は壮麗な壁画で飾られていた。壁画のテーマの中でも特徴的なのは、「誓願図」の存在である。ろう。「誓願図」とは、仏陀がその前生において、過去仏に供養もしくはその仏のもとに出家学道して、仏となろうという誓願を發したことを示したものとされる。「誓願図」に付されたサンスクリット銘文の出典は、明らかに小乗の傾向の強いものであることが明らかにされており、ウイグル仏教がその初期において小乗系の説一切有部の大きな影響を蒙ったと指



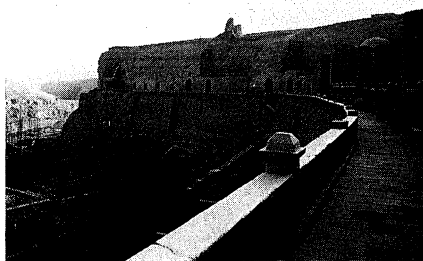
摘されていることと符合している。また最近の研究によって、九一〇世紀には、マニ教を国教としていたウイグル族の西遷に伴い、ベゼクリク石窟にマニ教寺院の石窟が開鑿されたとされる。その後一〇世紀末ごろまではマニ教に対する信仰は、一一世紀になると衰退していったとされるが、それまでの間仏教とマニ教との並存状況が現出していたのである。実はこのベゼクリク石窟だけでなく、

トゥルファン盆地には、センギムIIアグズ(勝金口)石窟やトユク石窟などにもマニ教窟が存在していた可能性が考えられている。今後の本格的な調査が望まれる。

【クチャの石窟寺院】

▼キジル石窟

亀兹(クチャ)のムザルト河北岸の断崖に造られた石窟群。中国側の番号によれば、現在二三六窟を数え、それらを四つの区域(谷西・谷内・谷東・後山区)に分類している。石窟は、僧の住居や禅定などの場となるものもあるが、壁画や塑像で



ベゼクリク石窟

飾られた祠堂窟が目立つ。石窟が盛んに開鑿された六〜七世紀当時、亀兹(クチャ)国においては、同時期の漢人が支配するトゥルファン地域とは異なり、説一切有部系の小乗仏教が隆盛していたとされているが、これを反映してか、弥勒菩薩像が涅槃像とセットで表現される窟が少なくない。

▼クムトラ石窟

ムザルト河に臨み、現在、南部の谷口区(三三窟)と北部の窟群区(八〇窟)に分けられている。雀尔山(チオル・ターク)を挟んで北にキジル石窟、南に近接してドウルドウルIIアクル(阿耨理貳)寺址がある。石窟構造や壁画様式は、キジル石窟と密接な繋がりを示すが、なかには大乘經典に基づく大きな経变図もあり、盛唐美術の顕著な影響が見られるようになる。クチャ周辺の石窟の年代分類については、これまで有力であったのは、全体を三期にわけた説である。第一期(第一様式)は五〇〇年前後、第二期(第二様式)は七世紀(さらにこの中を三つに区分)、第三期(第三様式)は八世紀ごろとされる。

第一・二期は、インド・イランの西方様式の影響が顕著なのに対して、第三期は唐の影響が強いとされている。クムトラ石窟はこの最後の第三期に属するものが少なくなく、八世紀以降、唐が当地の軍事支配を強化するとともに、その文化の影響力が強まったことを示唆している。

(荒川正晴)

◆DATA

【ベゼクリク石窟】

所在地…新疆ウイグル自治区・吐魯番地区・吐魯番市の東北約五〇キロ

時代…六世紀前後?〜一三世紀頃

参観…可

【キジル石窟】

所在地…新疆ウイグル自治区・拜城県・キジル鎮の東南七キロ

時代…主な石窟は、?(一説には三世紀ごろ)〜七・八世紀頃?

参観…可

【クムトラ石窟】

所在地…新疆ウイグル自治区・庫車県の西南約三〇キロ

時代…主な石窟は?・キジルより遅れて開鑿か)〜一一世紀頃?

参観…可

約三〇キロ

時代…主な石窟は?・キジルより遅れて開

鑿か)〜一一世紀頃?

参観…可

約三〇キロ